

1. 実施機関名
慶應義塾大学

2. 企画名
医学・医療への一歩 努力は天命さえも変える

3. 総合評価コメント

GSC として 2 期 8 年の実績と戦略的かつ広範にわたる広報活動により、医学・生命科学分野を核として全国から大変多くの生徒を集めている点は評価できる。書類選考と同時に応募者全員に面接を行うなど丁寧な選抜を実施し、高い意欲と能力を有する受講生に生化学系の基礎実験、生命科学を中心に、国際性の付与にも考慮した多様で高度なプログラムが提供されている点も評価できる。サイエンスライターの育成、食育活動、受講生と実習活動を行う海外高校生の招聘など、自主財源による積極的な活動は特徴的である。また、修了生と良好な関係を保つことで多くの修了生が受講生の身近なロールモデルとして取組に協力し、受講生をサポートしている点も良い。

一方で、受講生評価について選抜時の評価は丁寧に行われているものの、プログラム参加の過程における形成的な評価は十分に行われていないように見受けられる。受講生の能力伸長を評価し、受講生に評価結果をフィードバックしていくことが望まれる。学内・協力機関など広範囲に点在していく受講生の研究指導をモニタリングし、プログラムを更に向上させていただきたい。また、重点連携機関に関して、支援期間終了後の自立的な取組の実施に向けてより積極的な支援が期待される。